

プリンス・トクガワの眼 — 明治維新もうひとりの主人公が見た世紀

徳川昭武。1867年パリ万博で将軍の代理をつとめた彼は、当時のヨーロッパで最も有名な日本人のひとりでした。外交の最前線にいた彼は、明治維新によって、若くして政治の表舞台から退き、その後29歳で隠居しました。後半生は、経験と人脈を活かして次世代を支えた「プリンス・トクガワ」。彼の眼で、変革の時代をたどります。



1.徳川昭武(衣冠姿、1867年パリにて撮影) 2.渋沢栄一(洋装、断髪姿、1867年パリにて撮影) 3.マルセイユでの集合写真。「徳川民部大輔殿下と日本政府特別使節団」 4.徳川慶喜(衣冠姿、1867年頃) 5.徳川昭武所用の陣羽織。(緋羅紗地三葉葵紋陣羽織) 6.スイス特命全権公使から贈られた懐中時計。(金剛葵紋付節公肖像人懐中時計)

年	年齢	出来事
1913 大正2	56歳	11月22日、慶喜死去。
1910 明治43	55歳	7月3日、昭武死去。
1908 明治41	53歳	2月、入院し腎臓摘出手術を受ける。3月、退院。
1904 明治37	51歳	日露戦争が始まる。
1903 明治36	50歳	この時期から本格的に写真撮影を始める。
1902 明治35	49歳	4月、皇太子・嘉仁親王(後の大正天皇)が戸定邸に行啓。6月、慶喜・徳川宗家から分家し、徳川慶喜家を創立。公爵に叙せられる。
1898 明治31	45歳	5月、慶喜が戸定邸を訪問。訪問時には、写真、作陶などを楽しむ。7月、甥・篤敬、死去。篤敬の子・園順の後見となる。
1892 明治25	39歳	5月、2男・武定、水戸徳川家から分家し、松戸徳川家を創立。当主として子爵に叙せられる。
1889 明治22	36歳	4月、慶喜、戸定邸を訪問、宿泊する。
1884 明治17	31歳	4月、戸定邸の座敷開きをおこなう。
1883 明治16	30歳	5月、隠居。(満29歳)
1882 明治15	29歳	2月、静岡へ旅行。15年ぶりに兄・慶喜に対面する。
1881 明治14	28歳	6月、フランス留学から帰国。7月、結婚。(中院通富6女、盛子/瑛姫) 12月、従三位に叙せられ、麩香間祇候(じゃこうのまじこう)となる。
1880 明治13	27歳	甥・徳川篤敬(あつよし)留学中)とヨーロッパを旅行する。
1876 明治9	23歳	御用掛としてフィラデルフィア万博に参加する。万博後、アメリカからフランスへ渡り、留学生活に入る。「第2次留学」
1871 明治4	18歳	「廃藩置県」
1868 慶応4	15歳	「明治維新」慶喜、公職を返上し、謹慎生活に入る。12月、パリから帰国。翌月、水戸藩主になる。
1867 慶応3	14歳	將軍の代理としてパリ万国博覧会へ参加。万博後はヨーロッパ各国を訪問、元首らと対面。パリで留学生活を送る。「第1次留学」
1866 慶応2	13歳	兄・徳川慶喜、江戸幕府 第15代將軍に就任する。
1853 嘉永6	0歳	10月26日、昭武誕生。父・水戸藩主・徳川斉昭(なりあき)、母・万里小路家睦子(ちかこ) 幼名は松平余八麻呂(よはちまろ。18男)。
1837 天保8	10月28日	慶喜誕生。



徳川昭武年表

展示スケジュール

- 特別展 I** プリンス・トクガワ — 新時代への布石
幕末期の国内情勢と万博を概説し、慶喜・昭武兄弟を育てた水戸徳川家の施策を紹介。
- 特別展 II** 幕府再興とパリ万博 — 1867・運命の転換点
江戸幕府、慶喜・昭武兄弟、渋沢栄一の運命が分かれた年、1867年のパリ万博を紹介。
- 特別展 III** 明治日本の国際化 — 徳川昭武と渋沢栄一の到達点
明治期、徳川昭武が果たした役割とは。フィラデルフィア万博派遣と後半生について紹介。

INFORMATION



●入館時間 | 9:30~16:30(17:00閉館)
●休館日 | 月曜日(祝日の場合にはその翌日) 年末年始(12月28日~1月4日) 展示替え期間(歴史館のみ)
●入館料金

	歴史館・戸定邸 共通入館料	戸定邸入館料	歴史館入館料
一般	¥320(250)	¥250(200)	¥150(120)
高校・大学生	¥160(120)	¥100(80)	¥100(80)

※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料

ACCESS



駐車場 | 普通車46台
大型バス5台(大型のみ電話で要予約)
交通 | JR常磐線松戸駅東口下車徒歩10分



松戸市戸定歴史館
TOJO MUSEUM OF HISTORY

〒271-0092 松戸市松戸714-1/
電話:047-362-2050/FAX:047-361-0056

